

弥彦村歯科保健計画 ライフステージに応じた評価指標と実績一覧

ライフ ステージ	目指す姿	評価項目						
		評価指標	指標の 方向	基準値	現状値	指標達成 状況	目標値	備 考
				H22年	H25年		H29年	
妊産婦期	○妊娠中・産後も歯や口の健康に関心を持ち、 口腔環境を整え、バランスよくおいしく食べる。ま た、生まれてくる赤ちゃんの丈夫な歯の土台をつ くる。	マタニティスクールで歯科健診を受けた妊婦の 割合	↑	23.2%	7.7%	△	増加	
		定期的に歯科健診を受けている妊婦の割合	↑	—	31.6%	—	増加	
		お誕生健診で歯科健診を受けた産婦の割合	↑	92.4%	90.8%	△	増加	
乳幼児期 (就園前)	①毎日の仕上げみがきと定期的な歯科健診・ フッ素塗布で健康な歯をつくる。 ②おやつ必要性や意味を理解し、甘いお菓子 や飲み物の与え方に気をつける。	毎日仕上げみがきをしている子どもの割合	↑	1歳児:78.5%	54.4%	△	増加	
				1歳半:79.0%	85.9%	◎		
				3歳児:87.1%	93.8%	◎		
		家庭でフッ素剤を使用している子どもの割合	↑	2歳児:60.7%	70.7%	◎	増加	
				2歳半:61.0%	66.0%	◎		
		6か月ごとに歯科健診を受ける子どもの割合 (1歳~3歳)	↑	62.9%	82.5%	◎	増加	
		むし歯有病率	↓	1歳半:1.5%	0.0%	◎	減少	県H25年:1.7%
				3歳児:17.1%	9.4%	◎		県H25年:14.6%
		一人平均むし歯本数	↓	1歳半:0.02本	0本	◎	減少	
3歳児:0.44本	0.31本			◎				
1歳半で哺乳ビンを使っている子どもの割合	↓	11.3%	7.8%	◎	減少			
1歳半で母乳中の子どもの割合	↓	18.5%	18.8%	◎	減少			
幼児期 (保育園)	①毎日の仕上げみがきと定期的なフッ素塗布・ フッ素洗口で健康な歯をつくる。 ②よくかんで、おいしく食べる。 ③おやつ必要性や意味を理解し、甘いお菓子 や飲み物の与え方に気をつける。	仕上げみがきをしている子どもの割合	↑	3歳児:83.3%	88.6%	◎	増加	
				4歳児:66.2%	80.0%	◎		
				5歳児: 41.2% (H19年度)	64.5%	◎		
		一人平均むし歯本数	↓	3歳児:0.44本	0.31本	◎	減少	県H25年:0.5本
5歳児:1.22本	1.03本			◎	県H25年:1.73本			

【目標値、基準値に対する実績値の比較の表し方】 ◎:目標値を達成した ○:目標値には至っていないが、基準値に対し現状値が改善された

△:目標値には至っておらず、基準値に対し現状値の改善がみられなかった ー:策定時目標値を定めていないもの及び基準値・現状値が把握できないもの

【基準値】 H22年度 母子健診、歯科健診実績 問診票集計結果

【現状値】 H25年度 母子健診、歯科健診実績 問診票集計結果

ライフ ステージ	目指す姿	評価項目						
		評価指標	指標の 方向	基準値	現状値	指標達成 状況	目標値	備考
				H22年	H25年		H29年	
青壮年期・ 中年期	①口の中の健康に関心を持ち、口腔環境を整えて、自分の歯でおいしく食べる。 ②生活習慣病と歯の健康の関連が分かり、望ましい生活習慣改善に取り組むことができる。	定期的に歯科健診を受けている人の割合(歯石の除去を含む) *参考 国 H34年:65%	↑	35.5%	56.2% (H26年度)	◎	増加	
		★40歳代における歯肉の炎症症状を有する者の割合	↓	22.9%	11.8% (H26年度)	—	減少	国の目標 H34年 25%
		★60歳代(60～64歳)における歯肉の炎症症状を有する者の割合	↓		14.7% (H26年度)	—	減少	国の目標 H34年 45%
高齢期	〇口の中の健康に関心を持ち、口腔環境を整えて、いつまでも自分の歯でおいしく食べる。	定期的に歯科健診を受けている人の割合(歯石の除去を含む) *参考 国 H34年:65%	↑	50.0%	56.2% (H26年度)	◎	増加	
		★60歳代(65～69歳)における歯肉の炎症症状を有する者の割合	↓		13.2% (H26年度)	—	減少	国の目標 H34年 45%
		★60歳代における咀嚼良好者の割合(咀嚼力判定ガムで4又は5)	↑		67.3% (H26年度)	—	増加	国の目標 H34年 80%
障害児 (者)・要介 護者	〇障がいがあっても、歯や口の健康を保つことができる。	訪問歯科健診の利用者数(県)	↑	36人	20人	△	増加	
		訪問歯科健診の利用者数(村)	↑	17人	15人	△	増加	

【目標値、基準値に対する実績値の比較の表し方】 ◎:目標値を達成した ○:目標値には至っていないが、基準値に対し現状値が改善された

△:目標値には至っておらず、基準値に対し現状値の改善がみられなかった —:策定時目標値を定めていないもの及び基準値・現状値が把握できないもの

【基準値】 H22年度 特定健診にて歯やお口の健康チェック結果

【現状値】 H25年度 特定健診にて歯やお口の健康チェック結果 ★:今回新たに加えた評価項目

弥彦村歯科保健計画 評価指標達成状況からの現状・課題と今後の取り組み内容について

ライフ ステージ	現状・課題	取り組み内容の追加事項
妊産婦期	マタニティスクールやお誕生健診での歯科健診受診割合が低くなっている。	・H26年度より、マタニティスクール開催を土曜日に変更し、参加しやすい体制を整備。歯科健診、歯みがき指導に加え、歯科医師より妊娠期から始めるお口の健康について、妊婦さんと夫へ講話を実施。
乳幼児期・ 幼児期	・むし歯有病率、一人平均むし歯本数等全体的に改善がみられるが、1歳児の仕上げみがきをしている子どもの割合が低くなっている。	・H26年度より、離乳食相談②(生後9～10か月児対象)にて、歯科衛生士より乳歯のむし歯予防や仕上げみがきの必要性について講話、個別指導を実施。